

# 2015 年度 センター試験 倫理（本試験） 分析

## 全体概況

試験時間 60 分

大問数・解答数	大問数：4 題	解答数：37 問
難易度の変化（対昨年）	○ 難化    ○ やや難化	● 変化なし    ○ やや易化    ○ 易化
問題の分量（対昨年）	○ 増加	● 変化なし    ○ 減少
出題分野の変化	○ あり	● なし
出題形式の変化	○ あり	● なし
新傾向の問題	○ あり	● なし
<p>総評 大問数 4 題、解答数 37 問は、昨年との変化なく、全般的にみれば、難易度も昨年と同程度である。昨年同様に、青年期・現代社会の諸問題・社会思想の融合問題がある。『倫理・政経』と大問中 3 題のリード文が同じであり、設問は昨年と異なりすべて同一のものとなっている。</p>		

## 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第 1 問	青年期・現代社会の諸問題・社会思想	28 点	環境問題（地球サミット）、青年心理（レヴィン・オルポート）、社会進化説（スペンサー）、正義論（プラトンの四元徳・ロールズ）、自由論（ミル）などが問われた。例年通り図表グラフ問題が 1 問あった。
第 2 問	源流思想	24 点	言葉を巡る諸思想の紹介である。問 3、問 5 でイスラム教が出題された。『論語』の内容、荘子の道、アリストテレスによるプラトン批判、アウグスティヌス、原始仏教の四諦などが問われた。
第 3 問	日本の思想	24 点	日本の思想に関する通史的問題である。古神道と国学（賀茂真淵）、平安仏教と鎌倉仏教（最澄・親鸞・道元・日蓮）、江戸時代の思想（林羅山・安藤昌益・二宮尊徳）、福沢諭吉、日本の独創的思想（柳田国男）などが問われた。
第 4 問	西洋近現代思想	24 点	ルネサンス以降の西洋思想に関する、理性を主題とする通史的問題である。ルネサンスの思想傾向、科学思想（ベーコン・コント）、社会主義（オーウェン・フーリエ）、社会契約説（ルソー）、20 世紀の思想（レヴィ＝ストロース・ホルクハイマーとアドルノ）などが問われた。